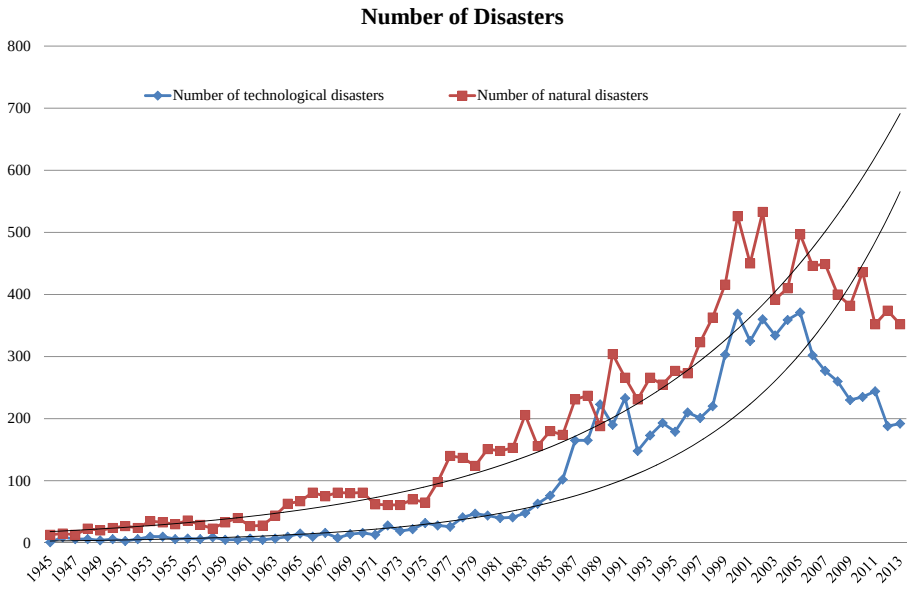
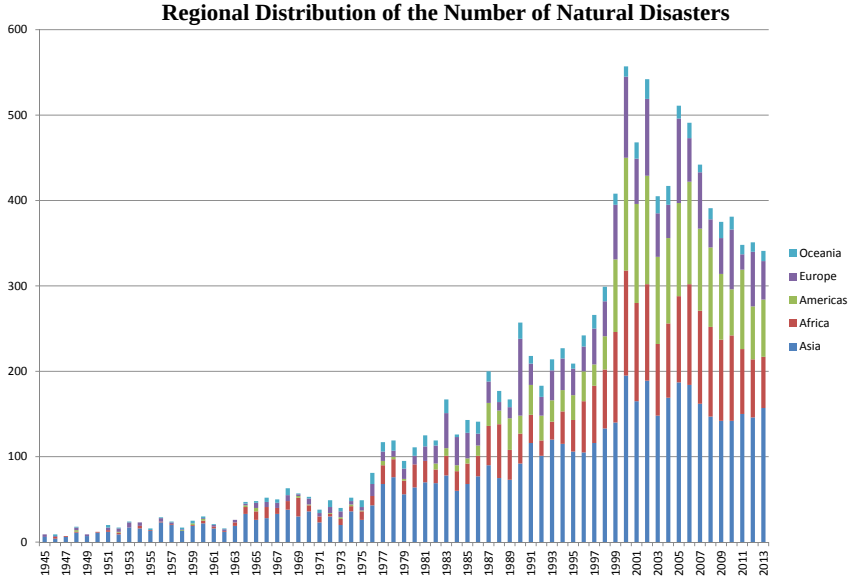


(Source: the author based on the data by the EMDAT/CREDS)

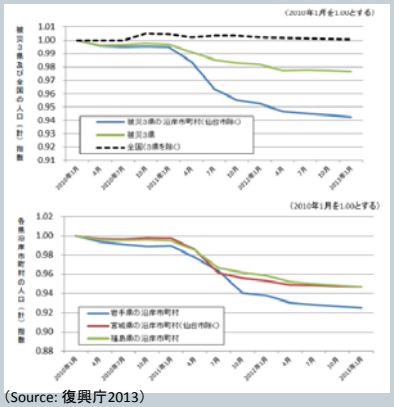


(Source: the author based on the data by the EMDAT/CREDS)

災害に対しては複合的な対応が必要

3

災害はもともと存在した課題を悪化させる（高齢化、過疎化、格差（貧困、ジェンダーなど）



（Source: 復興庁2013）

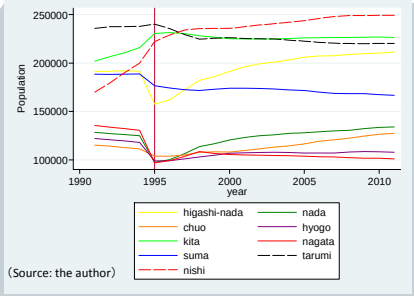
「縦割り（fragmentation）」の弊害とpost-2015の可能性

- **One UN?** 国連事務局（17部局）、5つの研究機関、14の基金と計画（UNDP、UNICEFなど）、17の専門機関（WHO、ILO、FAO、世界銀行グループなど多くは第二次世界大戦前から存在）
- **加盟国内でも** 経済省：Bretton Woods Institutions、外務省：国連本部、保健省：WHO、農業省：FAO、工業省：UNIDO、貿易省：WTO、教育省:UNESCO....
- **経路依存（Path dependency）と可能性**
  - ✓ MDGsの成功：はじめてOne UNに（「国連開発の10年」の失敗）
  - ✓ Post-2015の可能性：世銀グループも一緒に

Power of numbers：「指標」と「国連開発の10年」の失敗

4

- 社会的弱者（もともとその社会に存在した格差）が災害の影響を最も受ける→社会的弱者を少なくする指標をたてる（社会権、経済権、人権）のも一案？
- 指標で表されない「絆」のような重要性をどう織り込むか？
- これまでの「途上国対象」から「全ての国を対象」とした場合に、広く社会で共有される目標になるか？「国連開発の10年」（第1次1961年～70年開始から現在まで続く）の失敗を繰り返すことにならないか？‘Free from Want, Free from Fear’は広く社会で共有される目標になった。



（Source: the author）